

林野庁 プレスリリース

8月1日	「第12回 聞き書き甲子園研修会開会式」の開催について
8月6日	国連生物多様性の10年「グリーンウェイブ2013」の実施結果について
8月9日	国際セミナー「森林の公益的機能の発揮に向けた取組」の開催及び参加者の募集について
8月9日	「食のモデル地域構築計画」の認定について
8月22日	林農林水産大臣の「木づかい」フォーラム『住まいでも、オフィスでも、もっと“木づかい”』への出席について
8月27日	森林における放射性物質の拡散防止技術検証・開発事業の結果について
8月27日	「平成24年度 森林病虫害被害量」について
8月28日	平成25年7月28日に山口・島根で発生した豪雨災害に伴う農地・農業用施設等の災害復旧に向けた技術者の派遣について
8月30日	「平成25年度 第2回 木材需給会議」の開催及び一般傍聴について
8月30日	「林政審議会」及び「林政審議会 施策部会」の開催及び一般傍聴について



参加児童の記念写真



定山溪国有林での自然体験活動

林野庁 一口メモ

林農林水産大臣が「木づかい」フォーラム『住まいでも、オフィスでも、もっと“木づかい”』に出席

8月23日、林農林水産大臣が東京都内で開催された「木づかい」フォーラム『住まいでも、オフィスでも、もっと“木づかい”』(三井物産(株)主催、(株)日本経済新聞社共催)に出席しました。



基調講演を行う林農林水産大臣

同フォーラムは、都市部で生活している方々を対象に、「木づかい」の重要性を認識してもらうことを目的としたもので、600人を超える参加者のもと、開催されました。

林農林水産大臣は、「森林の状況と木づかいの大切さ」というタイトルで基調講演を行い、「木を植える、育てる、伐る、使うという緑の循環を続けることで元気な森は育まれる。その中で身近に出来るのが国産材を使うこと。特に今は木を使うチャンス。」と、木づかいの重要性を述べるとともに、最近の木材利用事例、木材利用ポイント



トークショーに参加する林農林水産大臣(左からフリーアナウンサー八塩圭子さん、林農林水産大臣、モデル・タレントはなさん、安藤直人東京大学名誉教授)

事業等を紹介しました。

また、トークショー「木の魅力を再発見!」にも参加し、自身の生活の中での「木づかい」についての話も交えながら、会場を盛り上げました。

「学校林・遊々の森」全国子どもサミット in北海道が札幌市で開催

8月6日から7日にかけて、“北の大地で感じよう。森と水と命のつながり”をテーマに「学校林・遊々の森」全国子どもサミットin北海道が開催されました。

今回の「全国子どもサミット」では、学校林や遊々の森(学校等が森林管理署等と協定を締結し、国有林を体験活動のフィールドとして利用する制度)で様々な体験活動に取り組んでいる全国15の小学校の児童らが参加し、活動発表や自然体験活動を行って交流を深めました。

1日目は札幌市アイヌ文化交流センターにおいて、アイヌ民族の方による特別講演と民族楽器の演奏が行われた後、各校の児童たちにより、森林での遊びや動植物の観察、植樹などの様々な活動が発表されました。一般傍聴も含め約150人が耳を傾けた活動発表は、児童同士による質疑応答も盛んに行われ、活気あふれるものとなりました。

2日目は札幌市定山溪国有林において、森林観察や測樹体験等の自然体験活動と記念植樹が行われました。子どもたちは熱心に説明に聞き入り、自然とふれあいながら北海道の森林の特徴等を学んでいました。

この「全国子どもサミット」は、学校林や遊々の森における活動の輪を全国に広げていくことを目的として平成19年度から全国各地で開催しています。

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。